

# 主の創造を学ぶ：グレイスチャペル研修会〔I〕

「十字架：福音の土台」

2010.2.7(日)

## 1. 世界の始まり、人類の始まり

### 1) 完璧に創造された世界、人

創世記 1:1・・・1:27

1:1 初めに、神が天と地を創造した。・・・・・・・・

1:27 神はこのように、人をご自身のかたちに創造された。神のかたちに彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。

創世記 1:31~2:3

### 2) 豊かに与えられ、主に従って生きると約束されていた幸せ

創世記 2:8, 9

創世記 2:15,16

### 3) 小さな制限、創造主に従うこと。御手の中で豊かに生きる

創 2:17 しかし、善悪の知識の木からは取って食べてはならない。それを取って食べるその時、あなたは必ず死ぬ。」

## 2. 不従順

### 4) 十字架：何故必要になったのか？

十字架の贖いが必要なのは誰だ？

### 5) アダムとエバの生活

自由で平和、完璧な世界で、主と心の交流があったアダムとエバ

創 2:25 そのとき、人とその妻は、ふたりとも裸であったが、互いに恥ずかしいと思わなかった。

してはいけないことはたった一つ

### 6) 誘惑

創 3:1-3:4

創造主への不信感を煽る悪魔の囁き・人の不信仰な愚かな応答

\* どの木からも食べてはいけない？

質問を微妙に変えて神は慈愛深い方ではないと暗示。

\* 本当に言われたのか？

神の言葉への不信を煽る。

\* 神を弁護しようとして、神の言葉に付け加え、差し引いたりしたエバの間違い

\* 「決して死にません」

神の言葉を否定し、神は嘘つきだと決めつける。

\* 「目が開け、神のようになる」という抵抗しがたい誘惑。

神の支配を嫌い、自分を神の上に置き、真理・正義の基準を自分が定める。

7) 三つの誘惑

創 3:5,6 あなたがたがそれを食べるその時、あなたがたの目が開け、あなたがたが神のようになり、善悪を知るようになる・・・その木は、まことに食べるのに良く、目に慕わしく、賢くするというその木はいかにも好ましかった。

- ①食べるのに良く：生理的、肉体的誘惑
- ②目に慕わしく：感情、美的感覚への誘惑
- ③賢くする：知的、靈的洞察力への誘惑

3. 進化思想の始まり

創造主の判断より、自分の判断の方が正しいと考える、人間中心の我が儘・放縦  
・・・これが進化思想・・・

進化思想・人間中心主義の創始者：

4. 不従順＝罪の報い

8) 罪・恥・断絶

創 3:7-3:10 裸であることを知った。

自分の真実を醜い、恥ずかしいと思うようになった  
主を恐れ、隠れた。主との断絶  
互いの断絶・不信

9) 最初の殺害

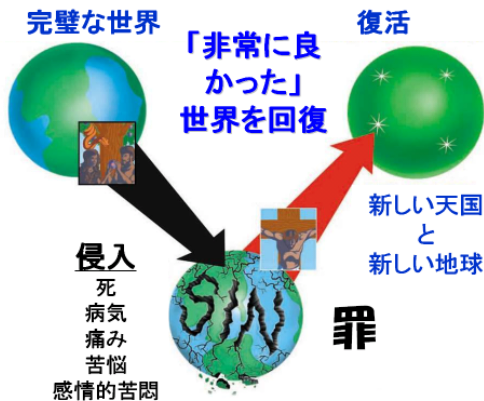
創 3:21-23 アダムとエバの罪を覆うための主の用意  
エデンの園からの放逐

5. ヒューマニズム・人間中心主義の増長

墮落した脳・・・進化論は正しい。聖書を進化論で曲がって読み込む  
自分を創造してくださった方に背き、NOを言う。  
頂いた賜物を駆使して、反対のための反対を考え出す。

6. 結語

詩篇 33:4 まことに、主のことばは正しく、そのわざはことごとく真実である。  
すべてのことに関する思考の立脚点を聖書に置く



福音の土台は創世記にあり